

対話を重視したまちづくりの仕組みの検討

～市民会館 100 人会議～

主に次の3つの取組を柱として、対話を重視したまちづくりを進める。

た

town meeting ～市職員（市長）と市民が直接対話するタウンミーティング～

タウンミーティングを開催し、市長とさまざまな地域、団体の市民が対話を行う。

い

inform ～情報提供と意見交換～

市職員が市民グループのところに出向いて市政の情報提供を行い、意見交換を行う。

わ

workshop ～関係と価値を創造するワークショップ～

市民と市職員（市長）が、市政の重要テーマについて、ワークショップ形式で対話・検討を行い、アイデアを提案する。

ワークショップ案「確かな未来ミーティング ～対話したいわ～」

1 概要

市民との対話を重視したまちづくりを進めるため、市民と市職員（市長）の協働により、市政の重要テーマに係る課題の解決に向けて、複数回にわたって対話・検討を行い、検討結果を市長に提案する。

【期待される効果】

- （１）若い世代を含めた多様な市民意見の市政への反映
- （２）市民と市民、市民と市職員（市長）の交流による新たな関係の構築・アイデアの創出

平成 28 年度モデルミーティング ～市民会館 100 人会議～

1 目的

市中心部である立地性や今後の公共施設更新の問題などを踏まえ、にぎわいや子育てなど、市中心部に「どのような機能が必要か」、「どんな施設にしたいか」を、市民や市職員（市長）と一緒に考え、「市民の思い」をベースに、市民会館跡地活用の構想の策定へとつなげる。

2 実施手順

- （１）事前登録 住民基本台帳から無作為抽出した市民に、“確かな未来ミーティング”の勧誘レターを郵送し「対話したい」と返信のあった市民の登録名簿を作成する。
- （２）開催案内 登録名簿の中からミーティングに参加するメンバーを選ぶ。

3 ミーティング概要

《参加者》登録名簿や関係団体等 概ね 100 人（1 回、1 組、10 人程度）

《開催回数》最大 15 回（土日祝日、もしくは夜間に開催） 《謝礼》1 日 1,000 円

4 備考

ホームページ等での簡易アンケートも実施し、対話に参加できない市民の意見も聴く。